

矢部広域病院から被災地へ

災害医療チームを派遣

3月11日に発生した東日本大震災。その2日後、日本医師会は被災地に「日本医師会災害医療チーム」(JMATジェイマット)を派遣することを決め、各都道府県の医師会へ要請を行いました。熊本の災害拠点病院(※)に指定されている矢部広域病院にも熊本県医師会から派遣の依頼があり、災害医療チーム(医師1人、看護師2人、事務職員1人)が、宮城県気仙沼市で支援活動を行いました。



左から、山内さん、坂本さん、徳臣さん、菅さん。気仙沼市民健康管理センター「すこやか」の前にて。

「こやか」を拠点として活動しました。地域の医療関係者のボランティア団体JRS(気仙沼巡回療養支援隊)と連携を取りながら、震災により通院ができなくなった在宅患者を訪問して診療。寝たきりの患者が、停電で電気式のエアマットが使えなくなったために起こした床ずれの治療などに力を注ぎました。

「震災から3ヶ月たっていました。震災時を思い出させないように会話に気をつけました。服装も医療用白衣ではなく、できる限り普段着に近いものを着て訪問していました。」患者を気遣いながら、チーム全員で診療活動に当たりました。

坂本医師は「私たちの活動はあくまでサポート。はやく地元での医療活動が復旧することを望んでいます。」と気仙沼市の復興を願います。

加えて坂本医師は、「今回の被害の甚大さを目の当たりにして、当院の災害拠点病院としての役割を考えた。起こりうる災害の種類は違うが、常に備えを怠らないことが必要だと感じる。」と語ってくれました。

※災害拠点病院：県内や近県で災害が発生し、通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を確保することが困難な状況となった場合に、熊本県知事の要請により傷病者の受け入れや医療救護班の派遣等を行う。上益城郡では矢部広域病院のみ。

災害の怖さを知るために — 蘇陽小 防災教室 —



山邊いち子さん

6月30日 蘇陽小学校で全校児童78名が参加し、防災教室が開催されました。被災地でのボランティア体験と、身近で起こった大雨災害についての体験談を聞くことで、児童たちに災害の恐ろしさとともに、いざというときの行動について考えてもらおうというもので、今回初めて開催されました。

講師は、蘇陽小に2人の孫が通う山邊いち子さん。絵本読み聞かせのボランティアで毎週木曜日に学校を訪れています。その山邊さんは、大火砕流が起こった島原市や阪神大震災などでのボランティア経験がある山本峰夫さん(南阿蘇村)とともに、5月20日から10日間、宮城県気仙沼市や石巻市、女川町で支援活動を行いました。避難所でのラーメン炊き出しや、自身の経験を活かした保育所の訪問、自宅で避難生活を余儀なくされている方々を訪問してアクリル製のわしを配布するなど積極的に活動。最終日には石巻市にあるボランティアセンターで、被災地で活躍



森田優さん

するボランティアの方々へラーメンを配り、とても感謝されたそうです。「信じられない光景ばかりが続いた。がれきの山に、鼻をつくにおい。そこに行かないとわからないことばかりだった。」山邊さんは被災地の状況について写真を見せながら説明します。

「現地で活動する若いボランティアの方々を多く見た。蘇陽小学校の児童には困った人がいたら助けられる人になってほしい。」と被災地の体験で感じたことを熱い思いを込めて語りました。

もう一人の講師は、学校の安全指導員を務め、スクールバスの運転手として児童みんなが知っている森田優さん。森田さんは、5年前に起きた土砂崩れで、一人が死亡した災害で救助活動にあたった体験や、防災教室の10日前に起きた国道265号の土砂崩れについて話し、「雷などの危険なサインを感じたら急いで家に帰ろう」と、普段から防災について意識するよう呼びかけました。

今年のお茶を審査

山都町茶品評会

6月24日、山都町中央公民館で「平成23年度山都町茶品評会」が開かれ、山都町内の生産者が、釜炒り製玉緑茶の部に21点、蒸し製玉緑茶の部に37点を出品しました。審査には熊本県農業研究センター茶業研究所などの職員の方があたりました。

今年度は、冬場の厳しい寒さの影響で生産量が少なくなりましたが、出品されたお茶はどれも品質が良く、審査員は何度も香りや味を確認しながら、慎重に審査をしていました。

審査後は、審査基準や摘み取り時期、製茶方法についての指導も行われて、生産者の方々は熱心に聞いていました。

審査の結果は次のとおりです。(敬称略)



外観(お茶の形)の審査



香氣(お茶の香)の審査



蒸し製玉緑茶の部

- 釜炒り製玉緑茶の部
 - 1等 下田 房夫(天飼)
 - 2等 阿部 主税(天飼)
 - 2等 松本 茂(天飼)
 - 3等 中村 五彦(金内)
 - 3等 井手 敏博(猿渡)
 - 3等 渡辺 憲治(北中島)
 - 3等 杉本 直道(目丸)

- 蒸し製玉緑茶の部
 - 1等 藤岡 隆一(藤木)
 - 2等 藤本誠一郎(入佐)
 - 2等 渡辺 成善(北中島)
 - 2等 中村 豊光(天飼)
 - 3等 藤原 徳門(島木)
 - 3等 増本 廣美(牧野)
 - 3等 坂本 和弘(男成)
 - 3等 飯開 敏憲(男成)
 - 3等 歌野 英和(北中島)
 - 3等 飯開 政俊(男成)
 - 3等 岩永 道治(島木)

小学校でも品評会

菅尾小

6月30日、菅尾小学校体育館で製茶品評会が行われました。この品評会は地域の方々に協力をいただいて、今回13点の出品がありました。審査方法は、町の品評会と同じ4つの項目で行われ、上益城地域振興局農林振興課の職員が審査しました。審査後には、審査員から児童に審査の方法などの説明があり、児童が香りや味の審査を体験しました。

- 審査結果(敬称略)
- 1等 小崎菊美(菅尾)
- 1等 小崎孝一(菅尾)



御岳小



6月16日、御岳小学校でも行われました。御岳小PTAが主宰するこの品評会では、地域の方々に協力をいただいて、釜炒茶16点、蒸し茶13点の計29点の出品がありました。審査には、J A上益城の職員があたり、品評会後はPTAで販売、売り上げは子どもたちの教材などに使われます。

- 審査結果(敬称略)
- 釜炒り茶
 - 特等 佐藤富士雄(野尻)
 - 特等 飯開政俊(男成)
 - 特等 飯開敏憲(男成)
- 蒸し茶